

令和6年度

事業概要

社会福祉法人 昭徳会

特別養護老人ホーム 小原安立
高齢者グループホーム 小原安立

社会福祉法人 昭徳会 基本理念

しあわせ
「幸福」

社会福祉法人 昭徳会 基本方針

- 1 ひとりひとりに、思いやりの心をもって接します
- 2 ひとりひとりを尊重し、その人にあった支援、援助をします
- 3 ひとりひとりを大切に、まごころで接します
- 4 わたしたちは、すべての人の幸福を目指し、たゆみなく援助技術の向上に努めます
- 5 わたしたちは、お互いに助け合い、よりよい生活ができるよう努めます

目次

1	小原安立が目指すユニットケアのカタチ	1
2	令和6年度事業計画	2
3	施設の名称所在地	3
4	事業目的	3
5	設置経営	3
6	施設認可、指定及び事業開始	3
7	規模及び構造	4
8	組織図	4
9	令和6年度会議、委員会体制図	5
10	職員の配置状況	6
11	勤務体制表	7
12	入居者の状況	8
13	受診状況等	10
14	給食の状況	13
15	在宅福祉サービス 短期入所生活介護	14
16	高齢者グループホームの事業	15
17	在宅福祉サービス 認知症対応型通所介護	17
18	各種委員会等活動報告	18
19	職員種別会議、研修参加状況	19
20	防災対策状況	21
21	令和5年度事業報告	22

1 小原安立が目指すユニットケアのカたち

(平成26年4月1日:制定)

(1) ユニットケア推進目標

ひとり一人の入居者が「幸福」を実感できる「暮らし」の実現をめざします。

(2) ユニットケア推進のための指針

馴染みの関係の中で、「暮らし」の個別支援ができるサービス提供体制(ユニット職員固定配置など)をつくる。

- ・1ユニット 10名の生活単位ごとに、職員を固定配置する。
- ・勤務表はユニット毎に作成する。
- ・入居者の暮らしを知り、暮らしに沿った職員配置を行う。

ひとり一人の入居者の意思や人格、生活習慣や好みを尊重し、これまでの「暮らし」が継続できるような居住・生活環境をつくる。

- ・これまでの「生活習慣」や「好み等」を知り、入居者の「望む」暮らしを支援する。
- ・「住まい」と感じられるユニット空間・環境をつくる。

24時間の「暮らし」が保証できる仕組みをつくる。

- ・入居者の「暮らし」と「支援内容」を24時間シートで明確にし、他職種協働で実践・評価・改善する。

2 令和6年度 事業計画書(小原安立)

1.事業運営基本計画(事業目標)

- (1) 根拠に基づいた高品質な個別ケア・サービスの提供
- (2) 人材確保及び定着化に向けた研修、労働環境の改善
- (3) 事業継続の観点から健全な経営を目指す(稼働目標:入所97%、居宅75%)
- (4) 地域に喜ばれる活動を通じて社会福祉法人として価値向上を図る
- (5) 事業継続管理に向けた、災害低減対策の推進

2.具体的計画

(1) 根拠に基づいた高品質な個別ケア・サービスの提供

介護データベース「LIFE」からのフィードバック情報を多職種で共有、分析することにより、ケアを見直す「PDCAサイクルの実践」により、ご入居者の状態改善、ケアの質の向上を図る。
コンチネンスケア、口腔衛生管理、栄養ケアマネジメントの実践を進め、ご入居者の生活機能の維持、向上を図り、入院日数の減少を目指す
ご入居者の身元引受人を対象とした利用満足度調査を継続実施する

(2) 人材確保及び定着化に向けた研修、労働環境の改善

職員の専門性向上の観点から、下記の研修参加を促進する。

：ユニットリーダー研修、：認定特定行為業務従事者(喀痰吸引研修)：バーセルインデックス研修、：コンチネンスケアワーカー研修、：認知症介護(基礎、実践者)研修、：育成就労関係(管理者、指導員、生活指導員)研修、：ICF視点の施設サービス計画作成に係る研修(外部講師招聘)、：福祉用具、機器の展示会、：コグニサイズ実践者研修
多様な人材への対応を目指した、各種介護マニュアルの作成により業務の平準化を目指す。
担当施設として、日本福祉大学講師による高齢分野専門研修を小原地区で開催する(2回)
職員のコンプライアンス意識向上のため、法定研修、接遇研修を行う
給与、社会保険業務の法人本部事務局実施に対応するため、勤怠管理システムの運用推進に継続して努める
生産性向上委員会を設置し、業務効率化を目的としたICT見守り機器や、介護職員の負担軽減を目的として福祉用具の導入を検討する

(3) 事業継続の観点から健全な経営を目指す(稼働目標:入所97%、居宅75%)

経年劣化した設備等を、収入に応じ計画的に更新・改修をする。(：屋根防水、：カーテン、居室ベッド等)
食事提供方法の変更(委託業者による現地調理から調理済み食材(クックチル方式)の購入)に伴い、提供体制を整える
採用、顧客獲得を目的としたホームページ。パンフレットの見直しを行う
退所から入所までの空床期間を減らし安定した稼働を目指す

(4) 地域に喜ばれる活動を通じて社会福祉法人として価値向上を図る

地域に喜ばれるよう小原地区で実施される地域行事に参加・開催協力を行う(沢田町、遊屋町)家族や地域の方々にも喜ばれる行事を各グループにて企画、実施する

(5) 事業継続管理に向けた、災害低減対策の推進

防災、感染症に対応するBCPの、見直しを各委員会内で実施する
各種シミュレーション(防護服着用、ゾーニング、炊き出し)訓練の実施及び、それに伴う備品の確認及び確保を定期的に行う。
協力医療機関との連携体制について検討する

3 施設の名称及び所在地

(1) 名称(サービス種類)

特別養護老人ホーム 小原安立

(介護老人福祉施設:ユニット型)

小原安立短期入所生活介護事業所(併設)

(短期入所生活介護事業:併設型ユニット型)

高齢者グループホーム 小原安立

(認知症対応型老人共同生活介護事業)

小原安立共用型デイサービス事業所(併設)

(認知症対応型通所介護事業)

(2) 所在地

〒470 - 0564 愛知県豊田市沢田町座内22番地

4 事業目的

介護保険法による要介護認定を受けている方が、可能な限り居宅においても“その人らしい”自立した生活が継続して営めるよう、サービスの提供を行い支援する。

5 設置経営

社会福祉法人 昭徳会

6 施設認可、指定及び事業開始

(1) 特別養護老人ホーム 小原安立

認可年月日 平成15年 3月28日

指定年月日 平成15年 4月 1日(介護保険事業所番号 2376100182)

指定更新年月日 令和 9年 3月31日

事業開始年月日 平成15年 4月 4日

(2) 小原安立短期入所生活介護事業所(併設)

指定年月日 平成15年 4月30日(介護保険事業所番号 2376100190)

指定更新年月日 令和 9年 4月29日

事業開始年月日 平成15年10月14日

(3) 高齢者グループホーム 小原安立

指定年月日 平成15年 3月28日(介護保険事業所番号 2376100174)

指定更新年月日 令和 9年 3月27日

事業開始年月日 平成15年 4月 4日

(4) 小原安立共用型デイサービス事業所(併設)

指定年月日 平成28年 5月 1日(介護保険事業所番号 2393000373)

指定更新年月日 令和10年 4月30日

事業開始年月日 平成28年 5月 1日

7 規模及び構造

(1) 利用定員

特別養護老人ホーム 80名 (8ユニット×10名)

短期入所生活介護事業所(併設) 6名

高齢者グループホーム 6名

共用型デイサービス事業所(併設) 3名

(2) 敷地面積 44,308㎡

(3) 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建

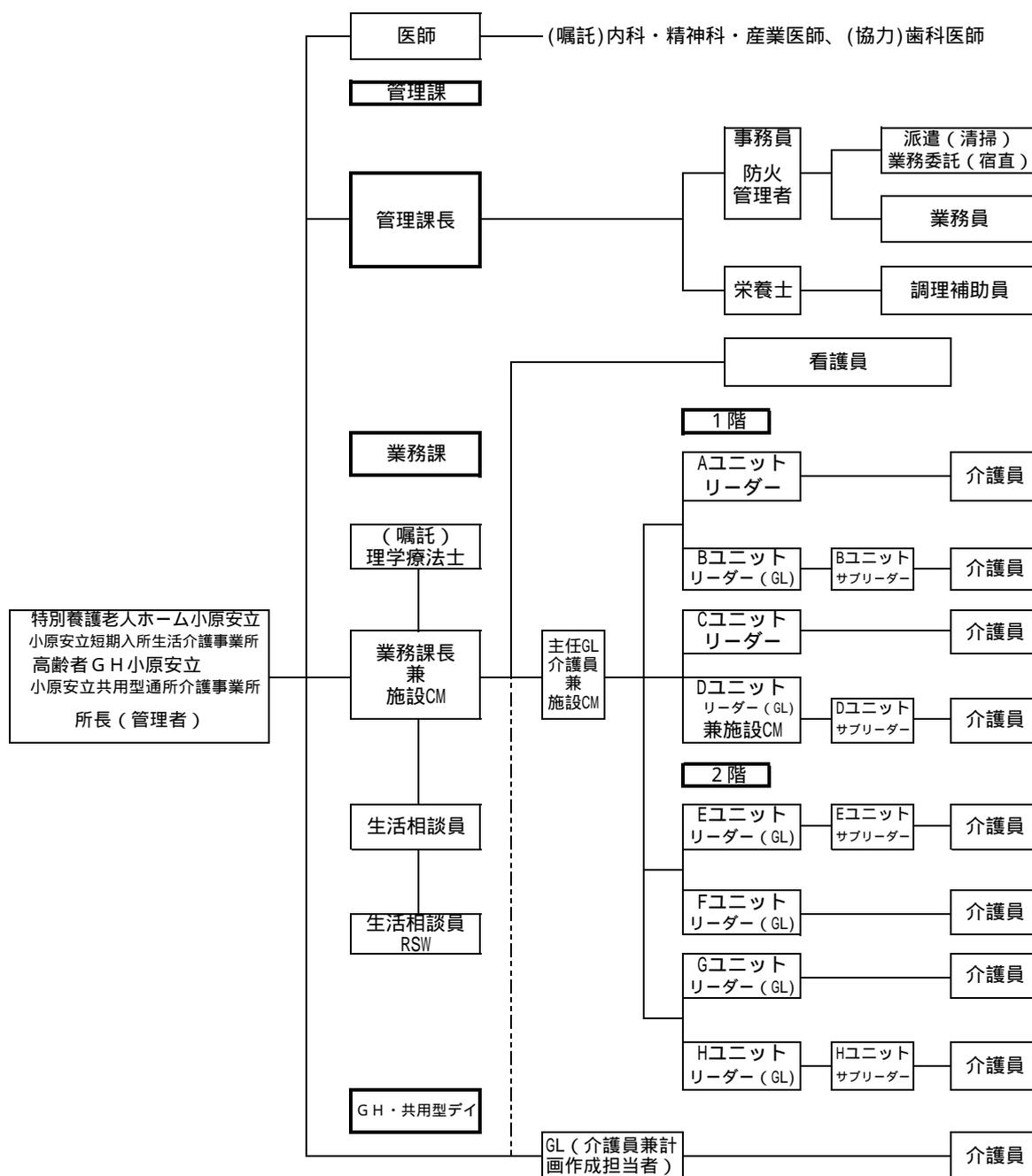
(4) 建物延面積 4,625.58㎡

特別養護老人ホーム 4,224.79㎡(短期入所生活介護事業との共用含む)

短期入所生活介護事業所(併設) 103.05㎡(居室・食堂専用面積)

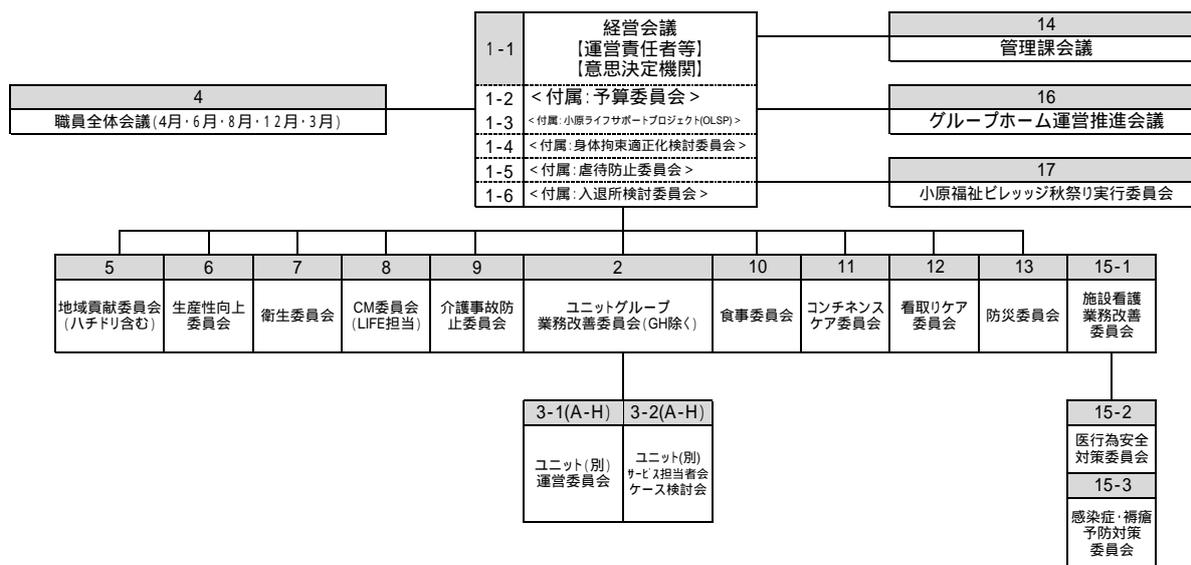
高齢者グループホーム 297.74㎡(共用型事業との共用含む)

8 組織図



9 小原安立会議・委員会体制図

(令和6年度)



No	会議・委員会等の名称	開催頻度	時間(分)	分掌業務
1-1	経営会議	月1回	180	法人情報共有、施設全体の経営課題、事業目標進捗管理、人材育成(研修)など。
1-2	付属:予算委員会	経営会議内		管理会計学習、予算管理に関すること。
1-3	付属:小原ライフサポートプロジェクト			技能実習生、特定技能に関すること。(実習状況、生活支援)
1-4	付属:身体的拘束適正化検討委員会			身体拘束防止、適正化に関すること。
1-5	付属:虐待防止委員会			虐待防止、人権擁護、不適切ケアは正に関すること。
1-6	付属:入退所検討委員会			入退所者の報告、協議、調整、加算取得状況に関すること。
2	ユニットグループ業務改善委員会		月1回	90
3-1	ユニット(別)運営委員会	月1回	150	各ユニットの運営に関すること、ユニット運営・管理に関する情報の共有化、LIFEのフィードバックに関すること。
3-2	ユニット(別)サービス担当者会、ケース検討会			ご入居者のサービス支援に関すること、個別のケースに関すること。
4	職員会議	年6回	120	年度の運営方針、総括、周知徹底事項の確認、法定研修に関すること。
5	地域貢献委員会(ハチドリ活動含む)	月1回	60	地域貢献・施設PR、ハチドリチャレンジに関すること。
6	生産性向上委員会	月1回	60	テクノロジーの導入、役割分担の見直し、全体に関わる業務改善に関すること。
7	衛生委員会	月1回	60	職員の健康管理・労働安全衛生に関すること。(健診、腰痛対策、メンタルヘルス)
8	ケアマネジャー(CM)委員会	月1回	60	自立支援、ICF、認知症ケア、個別希望の実現を踏まえた施設サービス計画の立案・評価等の体制検討・推進、ほのぼのの入力、LIFE運用に関すること。
9	介護事故防止検討委員会	月1回	60	事故防止のための指針、事故分析に関すること。
10	食事委員会	月1回	60	クックチル提供体制の構築、「楽しく・美味しく食べる」を実現する企画検討、食中毒の注意喚起等に関すること。
11	コンチネンスクア委員会	月1回	60	コンチネンスクアに関すること。
12	看とりケア委員会	年6回(4月を除く)	60	看取りケアに関する指針の見直し、研修企画、益供養に関すること。
13	防災委員会	月1回	60	施設全体の防火管理・訓練、備蓄品・装備品の整備・管理等に関すること。防災訓練、BCPの作成、研修、訓練に関すること。
14	管理課会議	月1回	60	管理課の情報共有、修繕実施状況、業務改善に関すること。
15-1	施設看護業務改善委員会	月1回	120	全体の看護業務に係ること。
15-2	医行為安全対策委員会			医療行為全般に関すること。
15-3	感染症・褥瘡予防対策委員会			感染症対策(訓練含む)、BCP作成、研修、訓練に関すること。
16	GH運営推進会議	年6回	60	GHの運営全般に係る事項の協議・決定、第三者評価に関すること。
17	小原福祉ビレッジ秋まつり実行委員会	適宜	120	小原福祉ビレッジの秋祭りに実施に関すること。

10 職員の配置状況

(1) 特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業

(R6.4.1現在)

職 種	員 数	内 訳		常勤換算 後の人員	指定基準	備 考
		常 勤	非常勤			
施 設 長	1	1		1	1	GH(所長)と兼務
医 師	2		2	0.1	1	内科・精神科
生 活 相 談 員	2	1	1	1.5	1	
介 護 員	41	31	10	42.8	29	26
看 護 員	5	3	2			
機能訓練指導員	1		1	0.1	1	理学療法士
介護支援専門員	(3)	(3)				介護員・看護員
栄 養 士	2	2		2	1	
調 理 員	6		6	2.8		
事 務 員	6	1	2	2	-	業務員
計	64	37	24	50.3	-	入居者:職員(看・介護) 比率(1.87:1)

()は他職種との兼務

ユニット別介護員配置状況

ユニット名	入所定員	介護員数	内 訳		常勤換算後 の人員	入居者:職員比率
			常 勤	非常勤		
ひばりヶ丘 1階北	A	10(1)	5	4	9.8	2.04:1
	B	10(1)	5	4		
さくらヶ丘 1階南	C	10(1)	5	3	8.8	2.27:1
	D	10(1)	5	4		
さつき通り 2階北	E	10	5	4	9.8	2.04:1
	F	10(1)	5	4		
ささゆり通り 2階南	G	10(1)	5	4	9.1	2.20:1
	H	10	5	3		
計	80(6)	40	30	10	37.5	

()は短期入所利用者数で別掲。

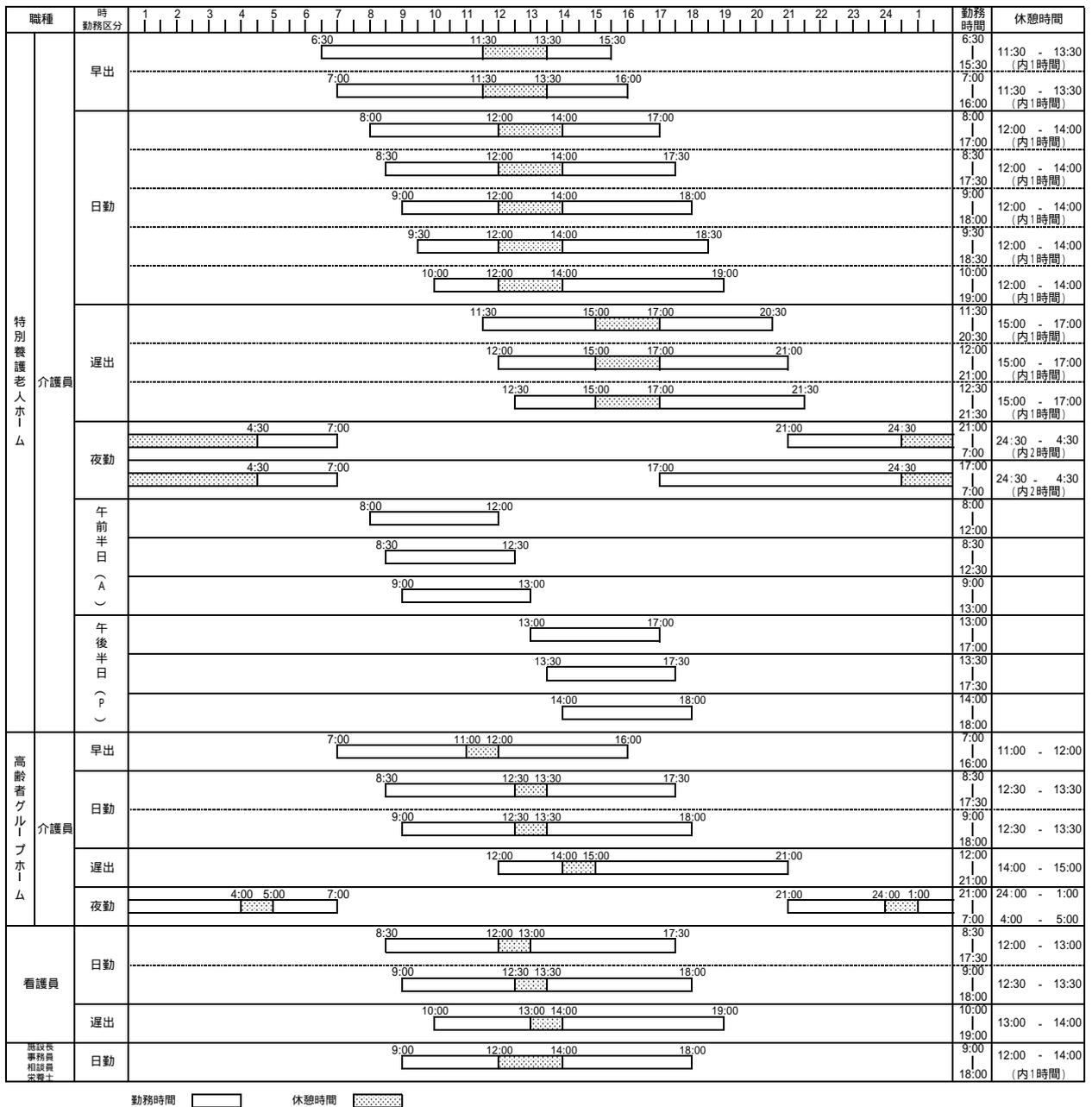
(2) 高齢者グループホーム・共用型デイサービス

(R6.4.1現在)

職 種	員 数	常 勤	非 常 勤	常勤換算後の人員	指定基準	備 考
施 設 長	(1)	(1)		(1)	(1)	特養(所長)と兼務
管 理 者	(1)	(1)		(1)	(1)	施設長が兼務
計画作成担当者	(1)	(1)		(1)	(1)	介護員が兼務
介 護 員	7	4	3	6.5	2	
計	7	4	3	6.5	-	利用者:職員比率 = 0.92:1

[]は他職種との兼務

11 勤務体制表



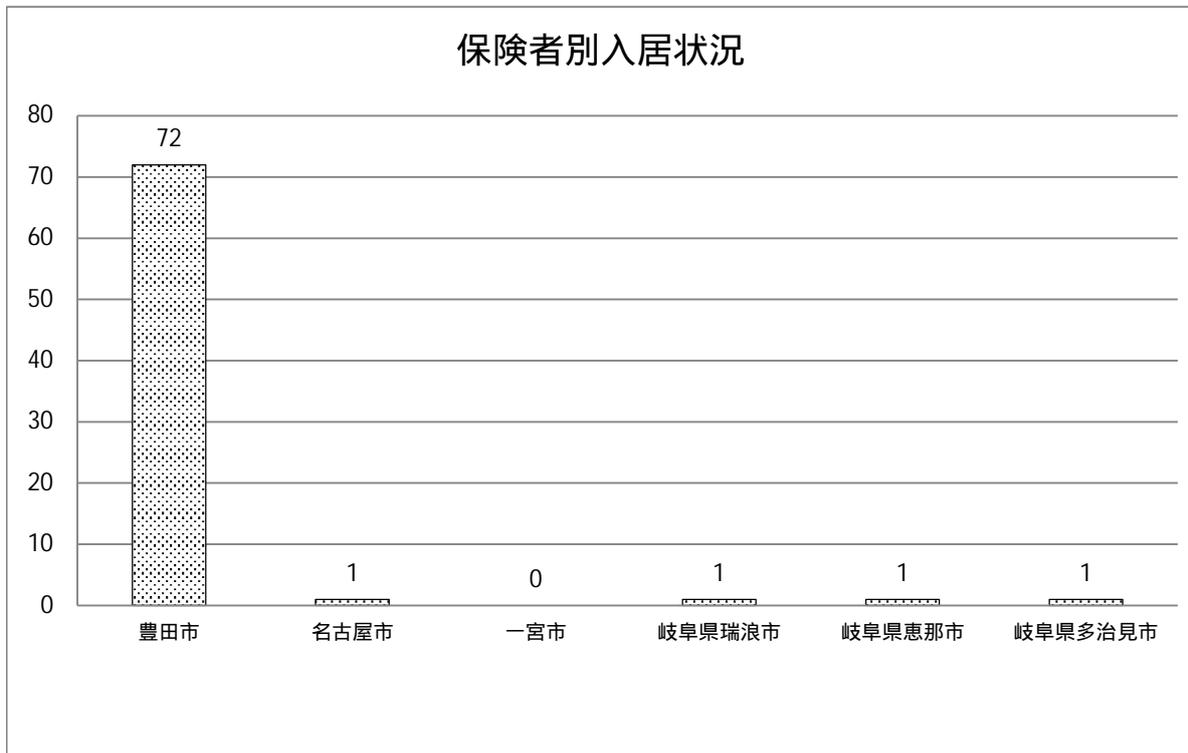
12 入居者の状況

(1) 保険者別入居状況

(R6.4.1現在 単位:人)

保険者	性別		計	構成比
	男	女		
豊田市	20	52	72	95.0%
名古屋市	0	1	1	1.3%
一宮市	0	0	0	0.0%
岐阜県多治見市	0	1	1	1.3%
岐阜県瑞浪市	0	1	1	1.3%
岐阜県恵那市	0	1	1	1.3%
計	20	56	76	100%

* 豊田市内からの入居者は前年より増加して95%を占めており、地元の小原地区の入居者は全体の約50%と半数を占めている。入居者の性別比率は、男性 25%、女性 75%である。
待機者の89%は豊田市在住の方である。
待機者 男性 13名 女性 21名 計 34名



(2) 身元引受人状況

(R6.4.1現在 単位:人)

性別	区分							
	配偶者	子	兄弟姉妹	子の配偶者	甥姪	孫	その他	計
男	2	11	5	2	0	0	0	20
女	3	48	1	3	0	0	1	56
計	5	59	6	5	0	0	1	76

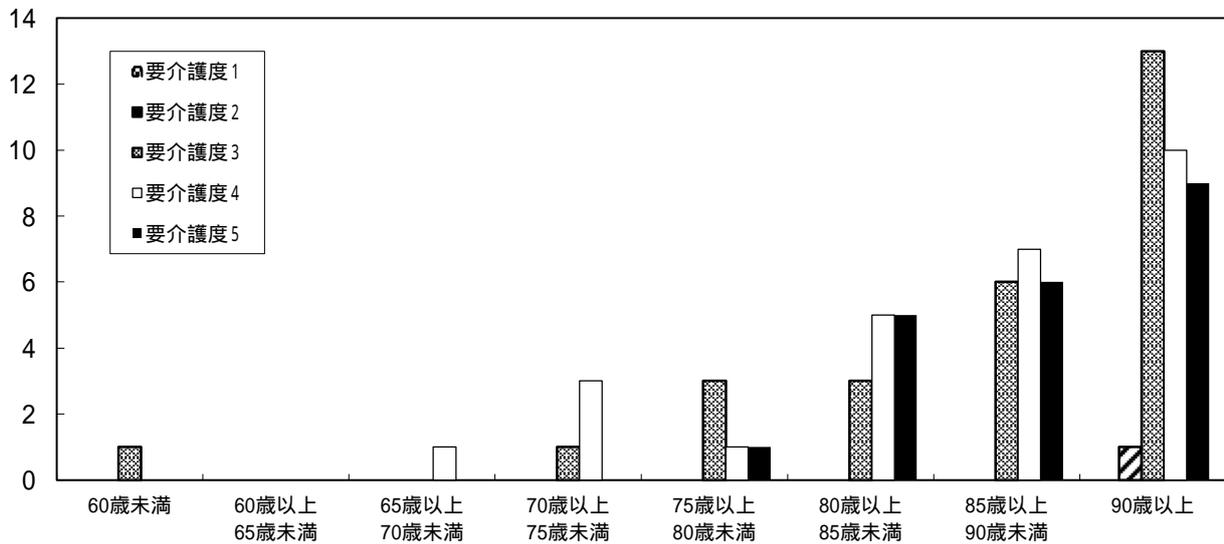
(3) 性別、年齢別状況

(R6.4.1現在)

	60歳未満	60歳以上 65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上	計(人)	構成比
	要介護度1									
要介護度2								1 (1)	1 (1)	1.3%
要介護度3	1			1 (1)	3 (1)	3 (1)	6 (5)	13 (10)	27 (18)	35.5%
要介護度4			1	3 (2)	1 (1)	5 (4)	7 (6)	10 (9)	27 (22)	35.5%
要介護度5					1 (1)	5 (1)	6 (5)	9 (8)	21 (15)	27.6%
計	1		1	4 (3)	5 (3)	13 (6)	19 (16)	33 (28)	76 (56)	100.0%

* 65歳未満の入居者は、介護保険法に定める特定疾病の方である。一方、最高齢者は101歳の方である。

平均年齢 男 83.5 歳 ()は女性の人数
 全体 87.5 歳
 女 89.3 歳
 平均要介護度 3.87



(4) 入退所状況

径路	区分	入 居									退 居					
		在 宅		介 護 福 祉 施 設	介 護 保 健 施 設	介 護 療 養 施 設	医 療 機 関	社 会 福 祉 施 設	そ の 他	計	死 亡	医 療 機 関	家 庭 復 帰	福 祉 施 設	そ の 他 (老 健 等)	計
計	男	3 ^人	0 ^人	0 ^人	0 ^人	0 ^人	2 ^人	0 ^人	1 ^人	6 ^人	3 ^人	1 ^人	0 ^人	0 ^人	1 ^人	5 ^人
	女	6	0	0	3	0	5	0	1	15	14	4	0	0	0	18

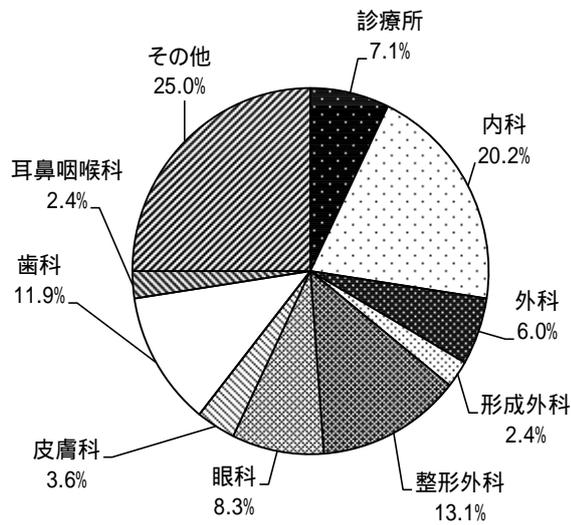
13 受診状況等

(令和5年度)

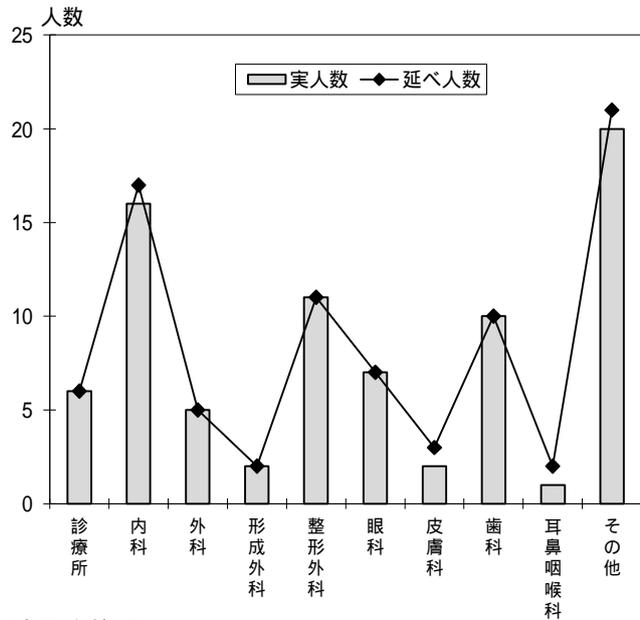
(単位:人)

	診療所		内科		外科		形成外科		整形外科		眼科		皮膚科		歯科		耳鼻咽喉科		その他		計	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
4月			1	1					1	1	2	2					1	2	3	3	8	9
5月			1	1															2	2	3	3
6月			3	3	1	1			2	2									2	2	8	8
7月			1	1					1	1	2	2							1	1	5	5
8月			2	3	1	1			2	2					1	1					6	7
9月			2	2											1	1			3	3	6	6
10月	2	2	1	1	1	1	1	1			1	1			3	3			3	4	12	13
11月			1	1			1	1											2	2	4	4
12月	3	3			1	1			1	1					2	2					7	7
1月			2	2					2	2			1	2	1	1			3	3	9	10
2月	1	1	2	2					2	2	1	1	1	1	1	1					8	8
3月					1	1					1	1			1	1			1	1	4	4
合計	6	6	16	17	5	5	2	2	11	11	7	7	2	3	10	10	1	2	20	21	80	84
1ヶ月平均	0.5	0.5	1.33	1.42	0.42	0.42	0.17	0.17	0.92	0.92	0.58	0.58	0.17	0.25	0.83	0.83	0.08	0.17	1.67	1.75	6.67	7

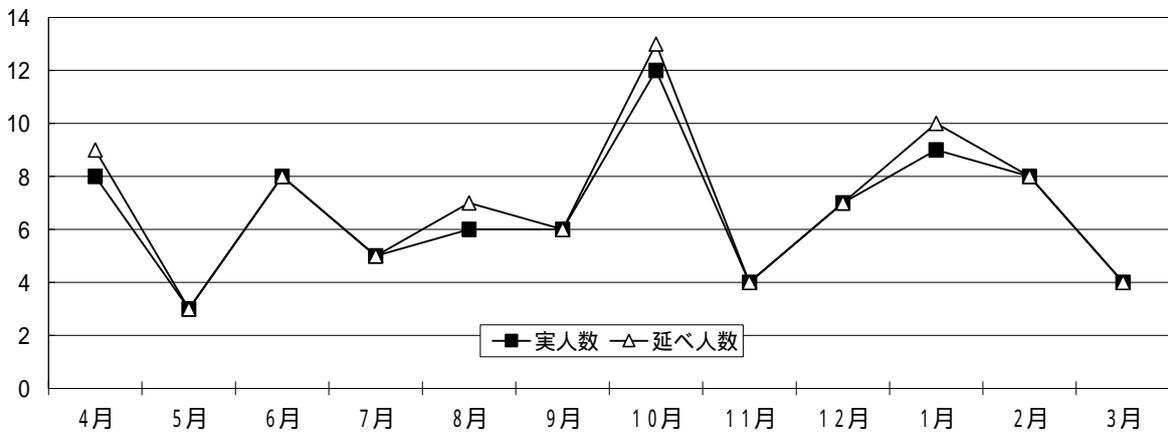
通院者疾病比率



診療科別通院状況

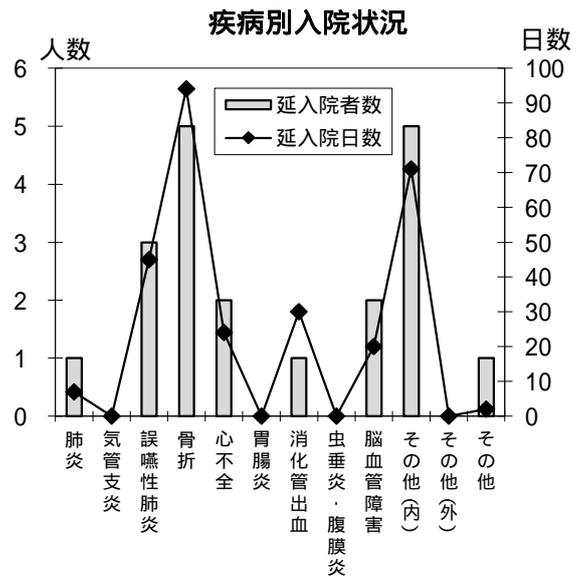
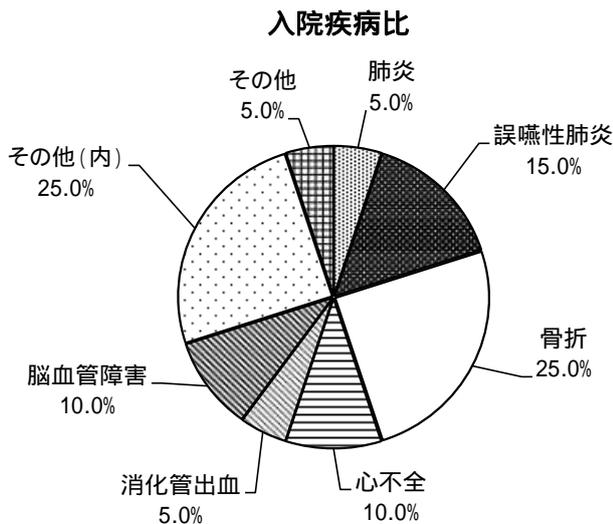


月別通院状況

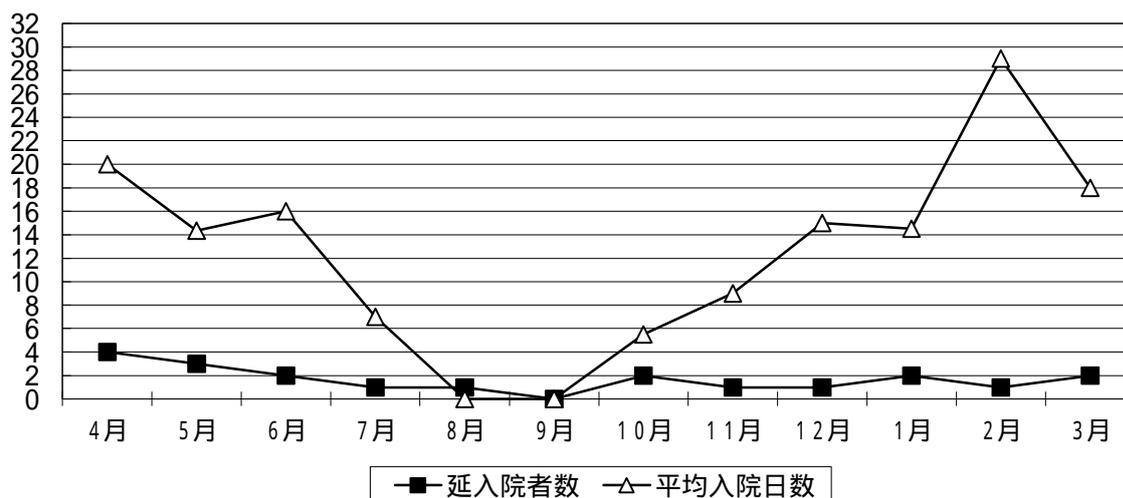


入院期間・病名等集計結果

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
実入院者数		2	1	0	0	1	0	2	1	0	1	0	1	9	
延入院者数		4	3	2	1	1	0	2	1	1	2	1	2	20	
延入院日数		80	43	32	7	0	0	11	9	15	29	29	36	291	
平均入院日数		20.0	14.3	16.0	7.0	0.0	0.0	5.5	9.0	15.0	14.5	29.0	18.0	14.6	
病名	肺炎	延入院者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		延入院日数	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	気管支炎	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	誤嚥性肺炎	延入院者数	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		延入院日数	23	9	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
	骨折	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	5
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	29	36	94
	心不全	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	9	15	0	0	0	24
	胃腸炎	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消化管出血	延入院者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		延入院日数	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
	虫垂炎・腹膜炎	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脳血管障害	延入院者数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
		延入院日数	12	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	20
	その他(内)	延入院者数	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5
		延入院日数	15	34	19	0	0	0	3	0	0	0	0	0	71
その他(外)	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	延入院者数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	延入院日数	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
計	延入院者数	4	3	2	1	1	0	2	1	1	2	1	2	20	
	延入院日数	80	43	32	7	2	0	11	9	15	29	29	36	293	
医療機関	地域医療センター	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	足助病院	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	
	豊田厚生病院	2	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	8	
	斉藤病院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	トヨタ記念病院	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	5	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	
計		4	3	2	1	1	0	2	1	1	2	1	2	20	



月別入院状況



総括

令和5年度の定期業務

4月	新人医療勉強会(急変時の対応を含む)
5月	特定業務健康診断(夜勤業務者対象) 吸引・手洗い講習
6月	吸引・手洗い講習 肺炎球菌ワクチン接種
7月	吸引・手洗い講習 向上研修(感染予防対策)
8月	吸引・手洗い講習 向上研修(感染予防対策)
9月	吸引・手洗い講習 施設清掃
10月	入居者・職員のインフルエンザワクチン接種 吸引・手;入居者健康診断(X・P・心電図)
11月	全職員の健康診断 吸引・手洗い講習
12月	吸引・手洗い講習
1月	吸引・手洗い講習
2月	吸引・手洗い講習
3月	吸引・手洗い講習

総括

退所者 23名

施設での死亡13名(うち看取り9名、急変4名)看取りの死因は老衰7名、誤嚥性肺炎1名、急性心不全1名。病院搬送後に死亡6名、加療継続のため退所4名。

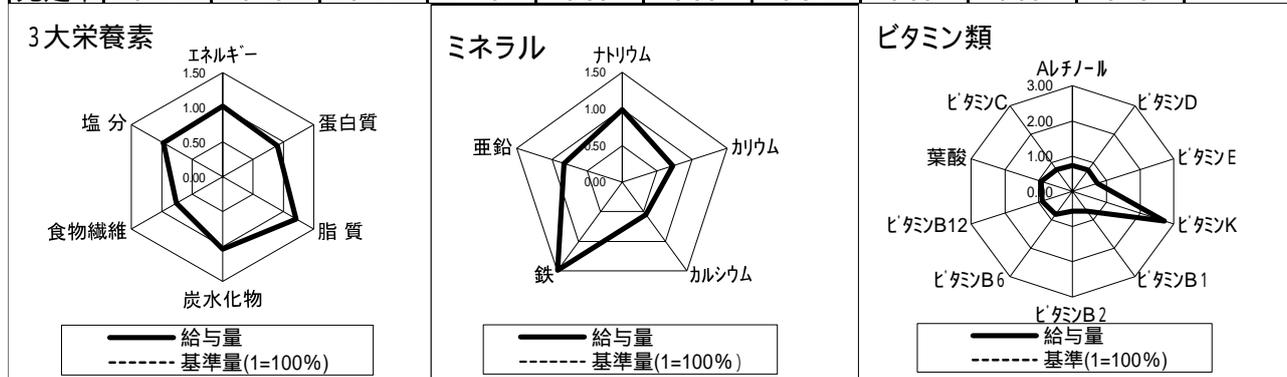
- 1) 受診状況は、令和4年度は90名から今年度は80名に減少した。定期受診以外の受診者が少なかった事による。
 - ・整形外科受診については骨折疑いによる受診、また骨折し退院後1年近くの経過観察が含まれるため多くなっている。
 - ・その他の受診は救急外来の受診が最も多く20名。うち救急搬送車14名、施設車搬送6名。
 - ・眼科受診については糖尿病・緑内障の新入居者が多く、定期受診が増えている。
 - ・歯科受診については定期健診に伴い齲歯治療、義歯調整が必要となっている。
- 2) 入院状況は入院者数9名、平均入院日数14.6日間。
 - ・内科入院は6名(誤嚥性肺炎2名・総胆管結石症2名・脳梗塞1名・心不全1名)
 - ・外科入院は3名(骨折2名・リハビリ1名)
- 3) 新型コロナウイルス感染者12名・インフルエンザ感染者2名。

14 給食の状況

(令和5年度)

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂質 g	炭水化物 g	食物繊維 g	塩分 g	ナトリウム mg	カリウム mg	カルシウム mg	鉄 mg	亜鉛 mg
4月	1551	56.7	38.9	246.3	13.1	8.0	3228	1620	320	9.2	6.0
5月	1548	56.3	36.7	252.2	13.5	8.0	3206	1642	330	9.2	5.7
6月	1596	55.0	37.8	248.5	13.3	7.9	3170	1590	327	9.0	5.8
7月	1509	54.2	35.6	247.2	12.6	7.6	3060	1611	307	9.0	5.6
8月	1517	54.0	36.8	248.1	12.6	7.6	3092	1572	289	8.4	5.7
9月	1496	51.9	34.1	249.7	13.3	7.7	3069	1562	270	9.1	5.7
10月	1477	51.7	34.2	245.0	12.3	7.6	3037	1536	288	8.8	5.7
11月	1502	51.7	33.7	257.8	12.8	8.0	3181	1597	289	8.8	5.7
12月	1527	55.6	38.2	245.2	12.4	7.8	3124	1583	291	8.7	5.9
1月	1547	53.7	38.9	250.7	13.1	7.7	3108	1616	306	9.2	5.8
2月	1520	52.6	35.8	251.2	13.0	7.9	3132	1558	291	8.6	5.9
3月	1522	55.3	34.8	250.6	12.8	7.8	3136	1633	304	9.0	6.0
平均	1526	54.1	36.3	249.4	12.9	7.8	3129	1593	301	8.9	5.8
目標	1500	60.0	30.0	240.0	17.0	8.0	3150	2200	550	6.0	7.0
充足率	1.02	0.90	1.21	1.04	0.76	0.98	0.99	0.72	0.55	1.49	0.83

	アルチノール 当量 ugRE	ビタミンD mg	ビタミンE mg	ビタミンK ug	ビタミンB ₁ mg	ビタミンB ₂ mg	ビタミンB ₆ mg	ビタミンB ₁₂ ug	葉酸 ug	ビタミンC mg
4月	470	5	5.0	175	0.69	0.66	0.91	3.2	225	78
5月	427	6	5.2	198	0.69	0.58	0.96	2.6	233	80
6月	429	5	4.7	175	0.68	0.61	0.88	2.3	218	79
7月	438	4	5.0	190	0.73	0.57	0.87	1.8	226	75
8月	423	3	4.4	173	0.71	0.59	0.86	1.7	203	69
9月	406	3	4.7	172	0.67	0.59	0.86	1.8	215	79
10月	418	3	4.6	189	0.55	0.58	0.83	1.9	222	74
11月	427	4	4.5	198	0.71	0.56	0.88	1.9	227	76
12月	469	5	4.8	209	0.72	0.64	0.90	2.4	233	76
1月	474	4	5.0	216	0.71	0.65	0.90	1.9	232	74
2月	482	5	4.9	200	0.69	0.74	0.90	2.3	217	74
3月	446	5	4.8	194	0.68	0.60	0.94	2.0	227	78
平均	442	4	4.8	191	0.69	0.61	0.89	2.2	223	76
目標	600	6	6.5	70	1.00	1.10	1.10	2.4	240	100
充足率	0.74	0.75	0.74	2.73	0.69	0.56	0.81	0.90	0.93	0.76



【年度目標】

- (1)「楽しく・美味しく」食べるを検討する。
入居者に喜ばれるメニューを毎月確認し提供する。
季節行事・ユニット行事等や特別な食材を使って食事の提案・提供する。
入居者一人ひとりの身体・嗜好に合わせた食事提供をする。
食事の環境を整える。

【総括】

- ・毎月、メニューの検討を行い食材や調理方法の改善等の見直しができ、美味しい料理の提供ができた。
- ・今年度は、「20周年記念式典」「ピレッジ秋祭り」の開催が出来て、入居者とご家族と一緒に「楽しく・おいしい」時間過ごすことができた。
- ・毎月、嗜好及び食事形態の確認の確認をし、適宜変更を行うことが出来た。

15 在宅福祉サービス 短期入所生活介護

(令和5年度)

(1) 市内地区別利用状況

地区	令和5年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数
小原地区	9 (7)	86 (68)	9 (6)	93 (74)	8 (5)	60 (42)	10 (6)	73 (46)	12 (7)	96 (64)	12 (8)	106 (62)	11 (6)	113 (62)
藤岡地区	3 (4)	21 (19)	3 (2)	20 (17)	2 (1)	14 (11)	2 (1)	21 (18)	3 (3)	23 (18)	2 (1)	22 (17)	2 (2)	36 (36)
旭地区	4 (4)	37 (37)	2 (2)	25 (25)	2 (2)	15 (15)	3 (3)	29 (29)	3 (3)	27 (27)	2 (2)	18 (18)	2 (2)	18 (18)
旧豊田地区	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	5 (5)	1 (1)	10 (10)
計	16 (13)	144 (124)	14 (10)	138 (116)	12 (8)	89 (68)	15 (10)	123 (93)	18 (13)	146 (109)	17 (12)	151 (102)	16 (11)	177 (126)

()内は女性の人数

地区	11月		12月		令和6年1月		2月		3月		合計	
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数
小原地区	14 (9)	139 (83)	11 (6)	132 (64)	9 (5)	108 (60)	6 (5)	59 (47)	8 (7)	62 (54)	119 (77)	1127 (726)
藤岡地区	1 (1)	3 (3)	2 (1)	6 (3)	3 (1)	16 (3)	3 (1)	38 (3)	4 (1)	45 (3)	30 (17)	265 (151)
旭地区	2 (2)	18 (18)	2 (2)	18 (18)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	3 (3)	24 (24)	211 (211)
旧豊田地区	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	15 (15)
計	17 (12)	160 (104)	15 (9)	156 (85)	13 (7)	127 (66)	9 (6)	97 (66)	13 (9)	110 (60)	175 (120)	1618 (1103)

()内は女性の人数

(2) 介護度別利用状況

介護度	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		計		
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	
要支援1	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	
要支援2	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	
要介護1	21 (21)	17 (17)	11 (11)	18 (18)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	12 (12)	3 (3)	6 (6)	97 (97)	3 (3)	6 (6)	97 (97)	88 (88)	
要介護2	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	11 (11)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	11 (11)	11 (11)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	7 (7)	18 (18)	56 (56)	7 (7)	18 (18)	56 (56)	
要介護3	57 (49)	54 (47)	41 (30)	56 (47)	82 (68)	76 (51)	108 (91)	71 (50)	83 (52)	83 (59)	47 (40)	25 (17)	783 (601)	47 (40)	25 (17)	783 (601)	47 (40)	25 (17)	83 (59)	47 (40)	25 (17)	783 (601)	47 (40)	25 (17)	783 (601)	601 (601)	
要介護4	48 (36)	52 (37)	27 (17)	32 (11)	44 (21)	49 (25)	46 (12)	55 (20)	51 (11)	28 (0)	40 (0)	49 (19)	521 (209)	40 (0)	49 (19)	521 (209)	40 (0)	49 (19)	28 (0)	40 (0)	49 (19)	521 (209)	40 (0)	49 (19)	521 (209)	209 (209)	
要介護5	15 (15)	15 (15)	10 (10)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	0 (0)	0 (0)	12 (0)	142 (130)	0 (0)	12 (0)	142 (130)	130 (130)
計	144 (124)	138 (116)	89 (68)	123 (93)	146 (109)	151 (102)	169 (118)	160 (104)	156 (85)	127 (66)	97 (50)	110 (60)	1610 (1095)	97 (50)	110 (60)	1610 (1095)	97 (50)	110 (60)	127 (66)	97 (50)	110 (60)	1610 (1095)	97 (50)	110 (60)	1610 (1095)	1095 (1095)	

()内は女性の人数

・小原地区の利用者が約70%を占めている。藤岡地区の実人数が増えている。

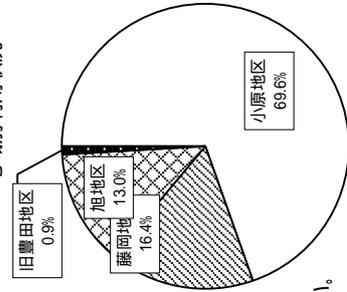
・1日平均利用者数は4.4人(前年度5.3人)と昨年より減少している。

・平均介護度は3.22(前年度2.8)と前年度と上昇した。送迎サービスの件数は314件(前年度417件)。

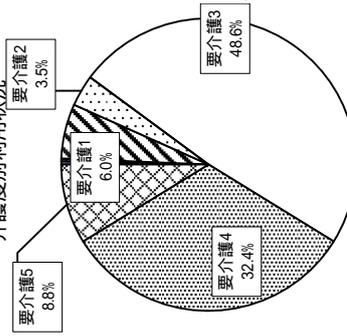
・実人数は男性8名、女性28名で男性の利用者が大きく減少している。男女比は男性32%、女性68%と前年度より女性の割合が増加した。

・令和5年度は毎月新規の利用者を増やすことができた。今後利用を定着させ稼働を高めたい。今後も広い地域からサービスを求められる施設として取り組んでいきたい。

地域別利用状況



介護度別利用状況



16 高齢者グループホームの事業

(令和5年度)

事業目的

介護保険法による要介護認定及び要支援認定を受けた認知症である方が、可能な限り家庭的な環境の中で、自立した生活が継続して営めるよう、サービスの提供を行い支援する。

(1)入居者の状況

介護度別、年齢別状況

(R6.4.1現在/ 単位:人)

	70歳以上 80歳未満	80歳以上 90歳未満	90歳以上 100歳未満	100歳以上	計
要介護度 1	0	0	0	0	0
要介護度 2	0	1	2	0	3
要介護度 3	0	0	3	0	3
要介護度 4	0	0	0	0	0
要介護度 5	0	0	0	0	0
計	0	1	5	0	6

*入居者全員女性である。

入院状況 (令和5年度)

月	入院者数	入院日数	月	入院者数	入院日数
4	0	0	10	0	0
5	1	7	11	0	0
6	0	0	12	0	0
7	0	0	1	0	0
8	0	0	2	0	0
9	0	0	3	0	0

(2) 生活状況

日常生活援助

- ・家庭的な落ち着いた雰囲気の中で、一人ひとりの能力に応じて掃除、洗濯、炊事等を協働し、忘れかけていた生活行動や残存機能を引き出していくことに取り組んでいる。
- ・個々の願いや希望を尊重し、外出や地域行事に積極的に参加する機会を持つことにより、地域との交流を大切にしている。
- ・家族との連携を密にしなが信頼関係を保ち、ご協力いただきながら生活の安定を図っている。
- ・認知症による周辺症状を低減するため、ご本人の生活リズムを把握し、一人ひとりに適した対応を継続することで、穏やかな日常が過ごせるよう支援している。

余暇活動

- ・利用者の年代に合った生活や歌(特に唱歌)、本読み(民話や昔話)等を取り入れて、生き生きとした生活を過ごせるよう支援している。
- ・季節に応じた企画を実施し、いろいろな選択肢の中から趣旨に合う行事への参加、娯楽活動向上を実践している。

一日の流れ (概ねの時間帯であり、その人に合った援助を行なっている)

時間	生活	余暇活動
7:00	起床 朝食準備	洗濯 掃除
8:00	朝食 健康チェック	片付け
9:00	お参り	洗濯物干し
9:30	体操(各種) 新聞(本日のニュース)	回想法、音楽
10:00	歩行訓練 おやつ 入浴	創作活動 畑、園芸作業 水撒き
11:00	昼食準備	
12:00	昼食 休憩	片付け
14:00	健康チェック 体操	散歩 買い物
15:00	入浴 おやつ 活動	シーツ交換 創作活動 畑、園芸作業
	夕食準備	洗濯物たたみ
18:00	夕食	
20:00	談話	
21:00	就寝	

生活動作		
炊 事	食材準備	役割分担
	食事調理	役割分担
	盛り付け	役割分担
	配膳	役割分担
	食器洗い	役割分担
掃 除	自室	個々
	食堂	役割分担
	廊下	役割分担
	手摺り	役割分担
洗 濯	洗濯	役割分担
	干す	役割分担
	取り込む	役割分担
	たたむ	全員

共同生活において、役割意識を高めていただくため、炊事や洗濯については、個々に応じて役割を提供し、その人の能力を活かすよう取り組んでいる。

また、日常生活の中で、常に利用者が主体となり、自己決定能力向上の促進を図っている。

(3) 面会、外出、外泊の状況 (令和5年度中 在籍者数8名)

(年度単位:延回数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分	面会	2	8	8	15	13	16	19	17	14	18	12	13	155
	外出	3	1	3	5	2	8	4	8	8	8	4	7	61
	外泊	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4

(4) 身元引受人状況 (R6.4.1 現在)

区分 性別	配偶者	子	子の配偶者	兄弟姉妹	甥 姪	その他	計
男	0	4	0	0	0	0	4
女	0	1	1	0	0	0	2
計	0	5	1	0	0	0	6

(5) 令和5年度 活動内容

家庭的で安心できる馴染みの空間で、仲間と活動することにより、一人ひとりのペースで穏やかな日々を過ごすことができた。生活の中で、一人ひとりの「出来ること」に着目し、自立した生活を送ることができるよう支援している。

今年度も食事は前日に配達される食材をもとに、3食をグループホーム内にて、ご利用者と共に調理している。また、ホーム周辺で採れた山菜や、うぐいす農園で収穫した野菜を食卓に並べ、旬の食材で季節感を味わいながら、楽しい雰囲気作りを工夫した。

コロナが5類に移行したことで、小原安立20周年記念祭や小原福祉ビレッジ秋祭り開催時にはご家族を招くことができ、また季節ごとにも行事を行い、ご利用者に楽しんでいただくことができた。

主な行事・活動内容等

月	行事・活動内容	月	行事・活動内容
4	うぐいす農園	10	20周年記念祭
5	鯉のぼり制作	11	干柿作り・四季桜ドライブ
6	うぐいす農園(玉ねぎ収穫)	12	クリスマス会・飾りつけ
7	流しそうめん・スイカ割り	1	新年会・創作活動(節分)
8	盆供養	2	節分会
9	敬老会	3	ひな祭り会・おこしもの作り

17 在宅福祉サービス 認知症対応型通所介護

(令和5年度)

(1)目的

少人数による家庭的な環境の中で、日常生活上の介護及び自立支援サービスを提供する。

(2)対象

旧小原地域内で当該施設より約10km以内に居住し、要介護者であって認知症の診断を受けている高齢者。

(3)令和5年度利用実績

項目	月												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	29	31	360
受入可能数	90	93	90	93	93	90	93	90	84	84	87	93	1080
延べ受入数	46	61	30	33	35	36	33	19	10	6	15	16	340
1日平均利用数	1.5	2.0	1.0	1.1	1.1	1.2	1.1	0.6	0.4	0.2	0.5	0.5	0.93
入浴支援数	34	46	22	27	31	32	31	19	10	6	15	16	289
実利用人数	7	7	5	4	5	5	4	3	2	1	1	2	46
新規受入数	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4
要介護度別	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1
	要介護2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護3	3	3	2	1	2	2	2	2	2	1	1	1
	要介護4	2	2	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年齢別	80歳以下	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0
	80歳以上 90歳未満	4	4	2	2	2	2	1	0	0	0	0	
	90歳以上 100歳未満	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	2	
	100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4)考察

平成28年度より開始した8年目の事業で、平成29年より介護予防事業も開始している。少人数であるため、集団レクリエーションを苦手とする方や、認知症の症状により対応が困難である方に対して、手厚いサービスを提供できることが強みとなっている。また、グループホーム内に日中のみ新しい風が舞い込むことで、地域の話で会話が弾み、デイサービスご利用者とグループホームご利用者の双方に良い影響となっている。

日曜日日も営業し、他の通所介護事業所に比べ利用料も安価で、多く利用していただけるため、馴染みの関係を構築するに相応しい事業所となっている。デイサービスをご利用のご家族からも、慣れた環境で継続したサービスを希望されるため、グループホームの入居の申し込みに繋がっている。

No	委員会等名	主な活動報告
	身体拘束適正化委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1回委員会を開催し、身体拘束等の現状確認を行った。 ・身体拘束等の適正化のための研修を2回行った。
2	虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・8月、11月、2月に身体拘束適正化委員会と兼ねて開催した。 ・虐待の芽チェックシートを使ってアンケートを2回実施し、各ユニット/部署ごとに集計を行った。集計結果を踏まえての取り組みも行った。 ・「虐待の防止のための指針」の再確認と高齢者虐待の種類や内容についての研修を行った。
	OLSP委員会 OBARA・LIFE・SUPPORT・PROJECT	<ul style="list-style-type: none"> ・会議内で特定技能、技能実習生についての情報の共有を行った。 ・買い物支援を各ユニットに振り分け月2回実施した。 ・福祉実践発表会で使用する資料の作成。 ・管理会社との面談等調整。内容を共有し改善に当たった。
6	生きがい活動・行事・地域貢献委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・小原西ふれあいザロンの参加や地域行事への開催協力を募った。 ・地域貢献活動が参加しやすいようにマニュアルを作成した。(R6年度に配布) ・敬老会、クリスマス会の企画・運営を行った。クリスマス会では杜若高校に慰問を依頼した。 ・年2回「入居者の近況報告」としてご家族へのお便りの発行を行った。
7	衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・職員健康診断、メンタルヘルスチェックを実施し職員の心身の健康保持に努めた。 ・熱中症対策として水分摂取を呼び掛け、熱中症0で過ごすことができた。 ・5S活動の一貫として洗濯槽クリーナーを使用し、年2回洗濯槽の清潔に努め、清掃を定期的に行う仕組みを作った。 ・過重労働防止、年次休暇の取得等管理、検討を行った。
8	CM(ケアマネ)委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「LIFE」へのデータ提供の方法に関する取り決めやマニュアルの作成、今後についての情報の共有を行った。 ・パーセルインデックス関係の表の管理及びPT指導の理学療法士との連携を図った。 ・年2回外部講師を招きICF研修を行った。 ・施設サービス計画書(ケアプラン関係)に関する内容を統一していくことを周知した。
9	介護事故防止検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・事故減少に向け、ヒヤリハット強化月間を年間6か月実施。 ・重大事故発生時の手順、報告書の統一を行った。 ・ショートステイ利用者の記録を紙媒体から入居者と同じソフトウェアにより入力の準備としてヒヤリハット報告書のみソフトウェアを使い入力・提出する取り組みを行った。 ・介護事故防止に向けた研修を年2回実施した。
10 14	給食委員会/献立検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「おいしく・たのしく」食べるを目標に、毎月の委員会では、介護職員、厨房職員と献立や調理方法を毎月検討した。 ・行事食では、20周年記念式典では、外部のお弁当を依頼し、ご家族と入居者に楽しい時間を過ごしていただいた。そしてピレッジの秋祭りでもご家族をお呼びし、一緒に楽しんでいただいた。
11	コンチネンスケア委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄では下剤の使用を減らす、オムツゼロ、排泄に関する取り組みでは、入居者の下剤の使用状況の確認、排泄介助等の確認を行った。 ・入浴では、入浴剤やローション等を使って楽しんでいただいた。 ・食事では、入居者のアレルギーや嗜好の確認、食事形態の検討を行った。
12	看取りケア委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」「看取りケア指針」の見直しを行った。 ・盆供養の開催及び、マニュアルの見直しを行った。 ・看取りアンケートの見直し、修正を行った。 ・特定・技能実習生向けの看取りケアに関するマニュアル作成を行った。
13	防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・防災食の期限を確認し、期限が迫ったものを更新した。 ・LPガス災害バルクを用いたき出し訓練を行い、使用法の周知を行った。 ・消防器具と非常用発電機の点検を行った。 ・防災訓練、通報訓練および応急手当講習を計画どおりに実施し、BCPの演習を行った。
15	施設看護業務改善委員会 医行安全対策委員会 感染症・褥瘡予防対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直しを行い投薬ミスを防ぐようにチェックシートを使用し再発予防を行った。また、誰もが入居の受け入れができるように書類、説明用紙等の見直しを行った。 ・入居者の支援に役立てる高齢者の特徴、薬、疾患等の勉強会を行うが資料配布にて勉強会を行った。 ・コロナワクチン・肺炎球菌ワクチン・インフルエンザワクチン接種を行った。 ・緊急時・感染のシミュレーション、BCP、机上訓練を行った。 ・介護員による喀痰吸引2号研修に2名合格。

19 職員種別会議、研修参加状況

(令和5年度)

(1) 特別養護老人ホーム関係

施設長

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	7月24日	昭徳会	経営管理者研修	法音寺	
2	9月28日	昭徳会	経営管理者研修	法音寺	他1名
3	10月6日	小原学園	虐待防止のリスクマネジメント	小原学園	
4	10月14日	昭徳会	福祉セミナー	法音寺	他2名
5	11月12日	昭徳会	福祉実践発表会	日本福祉大学東海キャンパス	他2名
6	11月28日	昭徳会	管理会計研修	法音寺	他3名

業務課長

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	7月3日	昭徳会	監督者研修	法音寺	他2名
2	7月28日	愛知県福祉局高齢福祉課	生産性向上の取り組みに関する介護事業所向けピグナーセミナー	Web	他1名
3	8月31日	昭徳会	監督者研修	法音寺	他2名
4	11月9日	昭徳会	看護員研修	法音寺	他1名
5	3月5日	豊田市	令和6年度介護報酬改定勉強会	豊田市福祉センター	他2名

管理課長

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	7月3日	昭徳会	監督者研修	法音寺	他2名
2	8月31日	昭徳会	監督者研修	法音寺	他2名
3	10月14日	昭徳会	福祉セミナー	法音寺	他2名
4	10月17日	労働基準協会	労働実務総合研修	名北労働基準協会	
5	11月21日	昭徳会	栄養士研修	いきいき広場	他1名
6	11/1~	(一社)日本摂食支援協会	口腔衛生等管理講演会	Web	
7	11月22日	昭徳会	外国人雇用推進委員会研修会	小原寮	他3名
8	11月28日	昭徳会	管理会計研修	法音寺	他3名
9	12月8日	日本福祉大学	提携社会福祉法人あり方ビジョン	Web	他1名
10	1月30日	豊田市総務監査課	社会福祉法人運営と法人指導監査の指摘事例と留意点について	Web	他1名
11	2月7日	日本ユニットケア推進センター	食に携わる職員のためのユニットケア研修	Web	他1名
12	3月6日	日本福祉大学	提携社会福祉法人あり方ビジョン第2回研修	Web	2名他2名

生活相談員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	5/10~	全国老施協	安全対策担当者養成研修	Web	他2名

事務員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	5月25日	昭徳会	GL研修(専門)	法音寺	他2名
2	10月14 16日	全社協	社会福祉法人会計実務講座	口フォス湘南	
3	10月25日	昭徳会	グループリーダー研修	法音寺	他1名
4	11月12日	昭徳会	福祉実践発表会	Web	他2名
5	1月30日	豊田市総務監査課	社会福祉法人運営と法人指導監査の指摘事例と留意点について	Web	他1名

栄養士

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	4月22日	日本コンチネンス協会	第2回法人祭り	Web	他1名
2	11月21日	昭徳会	栄養士研修	いきいき広場	他1名
3	2月7日	日本ユニットケア推進センター	食に携わる職員のためのユニットケア研修	Web	他1名

看護員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	4月22日	日本コンチネンス協会	第2回法人祭り	Web	他1名
2	7月10日	(株)プレゼンス・メディカル	医療的ケア教員講習会	Web	
3	9月20日	昭徳会	初任者研修	法音寺	他1名
4	11月9日	昭徳会	看護員研修	法音寺	他1名

介護員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	5月9日	認知症介護・研修仙台センター	認知症介護基礎研修	Web	3名
2	5月9日	昭徳会	GL研修(専門)	法音寺	4名他1名
3	5月25日	昭徳会	GL研修(専門)	法音寺	2名他1名
4	4/21~	全国老施協	パーセルインデックス評価研修	Web	5名他1名
5	6月1日	豊田市介護保険課	現任介護職員研修	豊田市福祉センター	
6	7/28~9/29	(株)プレゼンス・メディカル	喀痰吸引等研修	Web	2名
7	5/22~6/16	全国老施協	誤嚥事故予防性ナー	Web	複数名
8	6月29日	昭徳会	初任者研修	法音寺	2名
9	7月3日	昭徳会	監督者研修	法音寺	他2名
10	7月19日	昭徳会	エキスパート研修	法音寺	3名他1名
11	7/28~8/24	愛知県福祉局高齢福祉課	生産性向上の取り組みに関する介護事業所向けピギナーセミナー	Web	他1名
12	8月31日	昭徳会	監督者研修	法音寺	他2名
13	9月20日	昭徳会	初任者研修	法音寺	他1名
14	9月28日	昭徳会	経営管理者研修	法音寺	他1名
15	10月2日	昭徳会	法人分野別専門研修	いきいき広場	2名
16	10月7日	RX組	楽ワザ介護塾	豊川市津ぶんか	
17	10月11日	昭徳会	法人分野別専門研修	いきいき広場	2名
18	10月17・18日	東海北陸ブロック老施協	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会	ウインクあいち	2名
19	10月25日	昭徳会	グループリーダー研修	法音寺	他1名
20	10月28日	日本介護福祉士会	介護職種の技能実習指導員講習	桜華会館	
21	10月31日	昭徳会	グループリーダー研修	法音寺	5名他1名
22	11月12日	昭徳会	福祉実践発表会	日本福祉大学東海キャンパス	他2名
23	11月15日	愛知県シルバーサービス振興	介護のための薬の知識	名古屋商工会議所ビル	
24	11月17日	愛知県福祉局高齢福祉課	介護従事者のメンタルヘルス研修	豊田市福祉センター	2名
25	11月22日	昭徳会	外国人雇用推進委員会研修会	小原寮	3名他1名
26	12月8日	日本福祉大学	提携社会福祉法人あり方ビジョン	Web	他1名
27	12月10日	愛知県介護福祉士会	プリセプターシップ研修	名古屋市総合社会福祉会館	
28	12/19・12/22	日本ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修	幸の郷	
29	1月13日	愛知県介護福祉士会	プリセプターシップ研修	桜華会館	
30	1月21日	日本介護福祉士会	介護職種の技能実習指導員講習	桜華会館	2名
31	2/13~2/16	日本ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修	幸の郷	
32	3月28・29・30日	昭徳会	新任職員研修	法音寺	他1名

(2)高齢者グループホーム関係

介護員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	4/21~	全国老施協	パーセルインデックス評価研修	Web	他5名
2	5月9日	昭徳会	GL研修(専門)	法音寺	他4名
3	10月14日	昭徳会	福祉セミナー	法音寺	他2名
4	10月31日	昭徳会	グループリーダー研修	法音寺	他5名
5	11月6日	豊田市福祉総合相談課	高齢者虐待・障がい者虐待対応合同研修	豊田市役所	

20 防災対策状況

(令和5年度)

実施日	実施内容	実施結果 (所要時間)	参加者
6月19日	小原福祉ビレッジ3施設合同避難訓練・消火訓練・通報訓練	30分	入居者 44名 職員 18名
10月16日	法人防災訓練(炊き出し・職員安否確認通報訓練) 小原福祉ビレッジ3施設合同総合避難訓練・消火訓練	240分	入居者 85名 職員 27名
1月19日	避難訓練(夜間想定)	30分	入居者 41名 職員 6名
3月15日	BCP図上演習及び見直し項目の洗い出し	60分	入居者 0名 職員 6名
3月28日	BCP図上演習及び見直し項目の洗い出し	60分	入居者 0名 職員 6名
年3回	普通救命講習(心肺蘇生法・窒息対応などの基礎講習)	各3時間	入居者 0名 職員 19名

参考

防災訓練の実施(小原安立防災要領 第20条)

訓練種目	訓練内容
通報訓練	消防署及び、非常連絡網により訓練する
消火訓練	消火器の取扱を習得し、消火の基本を訓練する
避難訓練	夜間訓練を含む避難訓練を実施する
救急訓練	蘇生訓練等及び怪我の応急措置等について訓練する
総合訓練	消火、通報及び避難誘導等を連携して実施する

避難訓練及び消火訓練は年2回以上、その他の訓練は年1回以上実施する。

21 令和5年度 事業報告書（小原安立）

1. 根拠に基づいた高品質な個別ケア・サービスの提供

- (1) 介護保険データベース「LIFE」について、事業所及びご利用者のフィードバックされたデータを委員会で分析、ケアプランへの反映作業を継続して行いましたが、新たな加算取得には至りませんでした。令和6年度の制度改正によるデータ提出頻度の増加に来年度以降も対応していきます。
- (2) バーセルインデックスによるアウトカム評価を、前期（6月～）、後期（12月～）に実施し、要介護状態の「改善グループ」、「悪化防止グループ」、「看取り介護グループ」に分け、ケアプラン上に位置付けしました。改善グループ（前期：9名⇒後期：11名）悪化防止グループ（前期：59名⇒後期：57名）看取り介護グループ（前期：2名⇒後期：3名）と推移しました。
- (3) 第三者評価において指摘を受けた各種介護マニュアル（手順書）について、①移乗・移動、②入浴・衣類の着脱、③体位交換、④食事・口腔ケアの作成を各ユニットで検討し作成を行いました。新人、外国人、中途採用など多様な職員教育に活用できるよう見直しを今後行っていきます。

2. 現場対応力（能力開発）と人間力（心田開墾）を高める人材教育の推進

- (1) 外国人材の活用について、新たに特定技能1号の受け入れを進め、8月（ベトナム）12月（インドネシア）1月（インドネシア：技能実習生より移行）に3名を採用しました。技能実習生2名と合わせて5名の外国人材が就労しています。整備した職員宿舎2棟（定員8名）に現在7名（小原寮技能実習生2名を含む）が居住しています。
- (2) I：ユニットリーダー研修（2名）II：バーセルインデックス研修（6名）III：コンチネンスケアワーカー研修（2名）IV：認知症介護実践者研修（1名）基礎研修（3名）V：外国人技能実習関連（管理者講習1名、指導員講習：2名）VI：ICF視点の施設サービス計画作成に関わる研修（2回開催）を行いました。そのほかに目標としていた、福祉用具、機器の展示会、コグニサイズ研修には参加者を派遣できませんでした。それ以外に職務に必要な研修として、労働実務総合講座（1名）、喀痰吸引研修（2名）等への外部研修へ職員を派遣しました。
- (3) 法人福祉実践発表会にて、山間地域での人材確保（技能実習生の生活支援）について発表することができました。今後も地域特性に応じた生活支援に尽力して定期的採用を目指します。

3. 事業継続の観点から健全な経営、労働環境の改善を図る（稼働目標 97%）

- (1) 経年劣化及び規格変更、また連携するナースコールの不具合を解消するため、電話交換機の更新を行いました。暑さ対策として高齢者グループホーム共用空間に遮熱フィルムを、看護室に遮熱スクリーンを設置しました。
- (2) 食事提供体制について、調理済み食材（クックチル）を導入しているユニット型特養への見学、一部施設内での試験提供を行いつつ、物価高騰、調理員不足等の要因による委託業者からの年度途中での契約内容変更を契機に、調理済み食材購入（クックチル）での提供体制変更に向け、総合評価方式による入札にて業者選定を行い、令和6年度より提供体制変更を行いました。
- (3) 介護保険法改正によって対策強化が必要なハラスメント対策について、法人顧問社労士による施設内研修を企画し、予防策となる応接態度改善や、カスタマーハラスメントの内容を取り入れ、12月に役職者、1月～3月に一般職向けと計4回実施しました。
- (4) 施設の稼働状況については、特養：91.9%、短期入所：73.7%、高齢者グループホーム：99%、共用型通所介護：31.5%となっており、目標値（特養97%）とは大きな開きがあります。通所及び短期入所のご利用者の入所が進んでおり、居宅も含めて全サービスにおいて新規顧客の獲得を目指します。

4. 地域貢献活動を通じた社会福祉法人として価値向上

- (1) 今年度のハチドリチャレンジの目標を「喜ばれる存在（施設）になろう」と設定し、交通立哨活動（2ヶ所）、環境美化（清掃）活動、地元小学校の廃品回収、地域イベント協力、フードドライブ（豊田市社会福祉協議会小原支所と共同）等の活動に職員が参加しました。またケアハウス湯山安立が窓口である「もったいないプロジェクト」へも多くの職員が参加しました。
- (2) 開所20周年記念感謝祭を企画し、感染防止対策として、10月21日、22日の二日間に分けて開催しました。51組85名のご家族が参加され、「Studio～燦～」による和太鼓演奏、仕出し弁当の提供をし、記念品として20周年記念ロゴマークの入ったエコバックと「基本理念（幸福）とその背景」を配布いたしました。
- (3) 日本福祉大学創立70周年記念「福祉大学祭」に小原寮、授産所高浜安立、法人本部事務局と共同し、昭徳会として出店。露店（焼きそば）に職員3名が参加し、学生に昭徳会を知っていただく機会となりました。学生のフィールド演習については希望者も集められず実施することができませんでした。

5. 事業継続管理推進に向けた、災害低減対策の推進

- (1) 厚生労働省の様式を参考として、防災、感染症BCPを作成。主任GL以上の役職者で、図上訓練を行い、参集できる職員の見直しや、災害備品の管理等への課題がわかり、今後も防災委員会等で継続して見直しを図っていくことにしています。
- (2) 委員会等により、感染症発生時のゾーニングおよび防護服着用訓練、災害を想定した炊き出し訓練を適宜実施いたしました。
- (3) 管理栄養士を中心に令和6年度より基本サービスとされる栄養ケアマネジメントについてマニュアルの作成を行い、10月より計画作成を開始し整備を行いました。同じく、口腔ケア管理体制について、協力歯科医師・歯科衛生士から介護員に対して、口腔衛生管理に係る技術的助言・指導を年2回実施してもらえるよう協定書を交わし、口腔状態の確認（モニタリング）を介護員が実施する体制を整備しました。

